

日本におけるデジタル化の状況

G584332025 川畑 皓夜

2025 年 6 月 30 日

1 デジタル競争力ランキング

国際経営開発研究所（IMD）の調査 [1] によると、日本のデジタル競争力のランキングは図 1 に示すように、調査対象の 64 カ国中、総合で 28 位、知識分野で 25 位となっている。

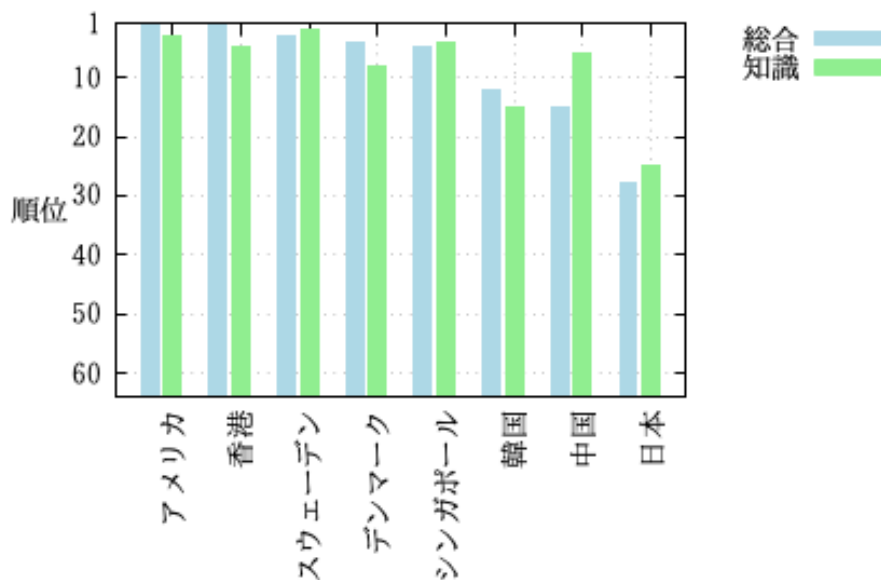


図 1: デジタル競争力ランキング（64 カ国中）

2 ブロードバンドの整備状況

OECD によるブロードバンド回線の普及に関する調査 [2] によると、表 1 に示すように、日本における 100 人あたりのモバイルブロードバンドの加入者数は 190.5 で、第 1 位になっている。2 位はエストニアで、3 位米国と続く。

表 1: モバイルブロードバンドの加入者数（100 人あたり）

順位	国名	加入者数
1 位	日本	190.5
2 位	エストニア	179.9
3 位	米国	169.0
4 位	フィンランド	157.0
5 位	デンマーク	141.7
6 位	ラトビア	141.6
7 位	イスラエル	139.9
8 位	オランダ	133.7
9 位	ポーランド	131.3
10 位	スウェーデン	127.2

3 考察

- 日本がデジタル競争力が低い要因として「紙文化」や「ハンコ文化」などの変化を嫌う文化的な壁がある。
- 日本がブロードバンド整備状況が高い理由として、世界トップレベルの光ファイバー普及率や人口密度の高さによる都市部への集中設備が挙げられる。

参考文献

- [1] IMD. IMD world digital competitiveness ranking. <https://www.imd.org/centers/world-competitiveness-center/rankings/world-digital-competitiveness/>, 2021.
- [2] OECD. Broadband Portal. <https://www.oecd.org/digital/broadband/broadband-statistics/>, 2022.